

# MOT

## Management of Technology

MOT短期集中コース

今、  
なぜ、MOTなのか？



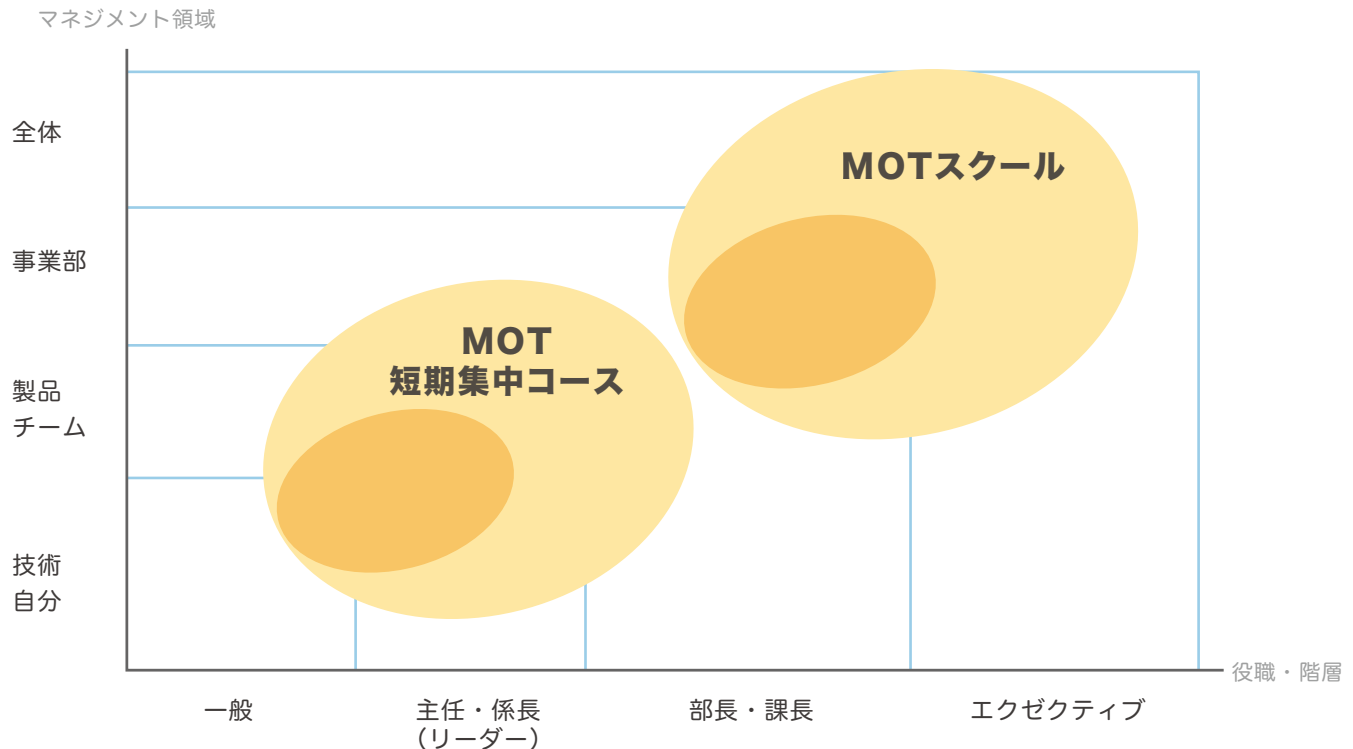
経営層に求められる MBA+ 最新 MOT とは。

グローバル化、IoT 化、AI 化に対応、進化する技術マネジメントとは。

技術が判る、経営が判る、そんな次世代イノベーションリーダーの育成とは。

オンリーワンを創り出す Management of Technology (MOT) とは。

## MOTプログラムと対象層



## 受講生の声



グンゼ株式会社／研究開発

松原 圭佑 氏

技術とビジネス環境の  
双方に意識を

企業のエンジニアが“技術”だけにとらわれず、  
自社を取り巻く様々な環境の変化に敏感である  
ことの必要性を学びました。



大阪ガスケミカル株式会社／研究開発

福西 佐季子 氏

ニーズを見極める  
マーケティング手法を学べました

様々なマーケティング手法を学ぶことができ、  
満足しております。特に市場分析に基づく、顧客  
ニーズの見極めが重要であることを理解しました。



日本化薬株式会社／研究開発

吉本 隆志 氏

実践的な講義内容を  
実務に活かしています

今後キャリアを重ねていくなか、事業化という  
ことが使命であり、夢であることから、先生方から  
学んだことは私なりにすぐに実践に移しております。

質疑応答や資料以外の  
事例紹介もあり、講義内  
容が工夫されていました。  
(ゴム製造・男性・44歳)

多くの先生や立場の近い  
他の受講生と交流できた  
ことが一番の財産です。  
(医療機器・男性・46歳)

考え方の幅が広がり、イ  
ノベーション事業を起こ  
すイメージがつかめました。  
(食品・女性・35歳)

演習でメンバーと意見交  
換ができ、他社状況を知る  
良い機会となりました。  
(情報処理・男性・44歳)

チャレンジと検証を繰り返  
し、問題への早期発見の  
姿勢を意識したいです。  
(電気機器・男性・35歳)

自分の意見に固執せず、  
他人の意見を理解するこ  
とが大切だと感じました。  
(ガラス製造・男性・35歳)

- 受講者同士の異業種交流を通して俯瞰的視野が拡大した！（医療機器・男性・46歳）
- マーケティングを手法にまで具現化してくれた最新版 MOT！（製造・男性・44歳）
- 技術イノベーションを起こすイメージが身についた！（食品・女性・35歳）

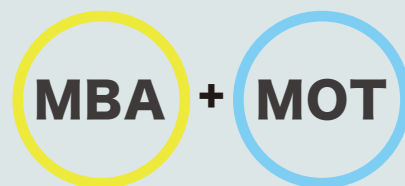
## グローバル化、IoT化、AI化に対応、 進化する技術マネジメントとは。

ご存知の通り、IT系などの最先端企業ではMOT人材の育成、発掘に躍起になっています。急速に変化する経済社会においては、柔軟性と即対応力の高い技術マネジメント(MOT)人材が求められます。当社のMOTカリキュラムでは、時代に即した実効性、持続性の高い、進化可能なMOT教育を体験、修得して頂きます。



## 経営層に求められるMBA+最新MOTとは。

MBAにおける重要な研究領域として位置づけられているMOT(技術マネジメント)の分野を「実学」として学び、速効性に優れたMBA+MOTの陣形構築が求められています。しなやかで、持続性のある強い組織作りはこの陣形構築から始まります。



## 技術が判る、経営が判る、そんな次世代 イノベーションリーダーの育成とは。

次世代イノベーションリーダーには技術を含む経営全体を俯瞰する力に加え、判断力、決断力、実行力が求められます。

当社のMOTカリキュラムでは、これらの力を向上させるための基礎知識を学んで頂きます。迷いを無くすことは出来ませんが、迷いを減らすことは十分可能です。



## オンリーワンを創り出す Management of Technology (MOT) とは。

オンリーワンを産み出すためには、オンリーワンを創り上げる人材の育成が求められます。技術マネジメント教育では、原点である技術と経営についてのメソッドを修得して頂き、個人とチームのベクトルを調整し、オンリーワン創出の最短距離を模索して頂きます。

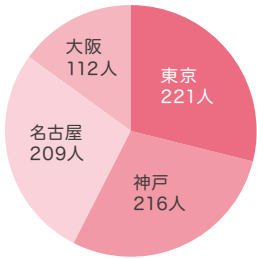


## なぜ大阪ガスがMOTなのか

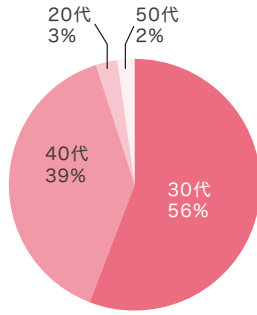
大阪ガスユーザー700万人、関連会社120社から得られる様々な情報を元に「実学」としての技術マネジメント(MOT)教育を推し進めています。日本の持つ世界最高レベルの技術と、それらが持つポテンシャルを活かし切るとは組織の未来を形作る最重要課題と言えます。大阪ガスは「鍵は技術マネジメントにある」と考えています。



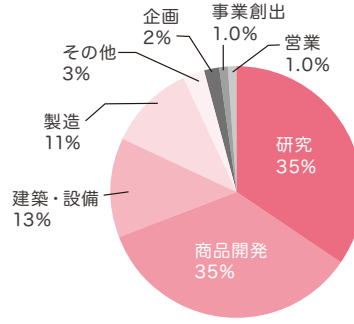
■ 受講人数



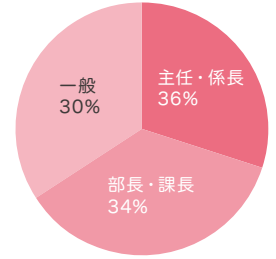
■ 受講生の年齢層



■ 受講生の職種

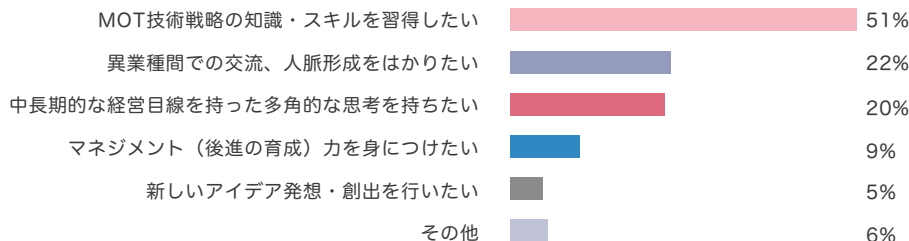


■ 受講生の役職



開催地	東京 Tokyo	東京 Tokyo
コース コンセプト	<b>MOTベーシックプログラム</b> MOTを実践するために必要な ・技術マーケティング ・MOT戦略 ・ビジネスプランニング 3つのスキルを育成するプログラム	<b>ビジネスモデル設計力強化プログラム</b> 技術を活かしたビジネスモデル創出のために必要な ・MOTの考え方 ・技術戦略 ・ビジネスモデル設計力 3つのスキルを育成するプログラム
開催 時期	2018年8月～10月(全6日間) 10:00～17:30	2018年9月～11月(全6日間) 10:00～17:30
講義 内容	<p>[第1・2日目] MOT概論／技術マーケティング 理論と具体的な事例に基づき、なぜMOTが必要なのかについて理解する</p> <p>小笠原 敦 氏 滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター 特任教授</p> 	<p>[第1・2日目] MOT概論／技術戦略ケーススタディ 社会・環境等の変化を見据えた事業シナリオを議論し、技術戦略の構想力向上を目指す</p> <p>石田 修一 氏 立命館大学 テクノロジー・マネジメント研究科 教授</p> 
	<p>[第3・4日目] MOT戦略 イノベーションにおける戦略の考え方を理論と具体的な事例に基づき学ぶ</p> <p>玄場 公規 氏 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授</p> 	<p>[第3・4日目] ビジネスモデル戦略 売れる仕組み・仕掛けをデザインするビジネスモデル戦略を学ぶ</p> <p>新名 史典 氏 株式会社SmartPresent 代表取締役社長</p> 
	<p>[第5・6日目] ビジネスプランニング演習 ビジネスプランニングのグループワークを行うことにより、仮説・実践・検証のプロセスを体感し、MOT実践の留意点を学習する</p> <p>岡田 耕治 氏 日本テクノロジーソリューション株式会社 代表取締役社長</p> 	<p>[第5・6日目] ビジネスモデル設計力 ビジネスモデルデザイン（企画、計画、設計）の手法を学び、またそこに潜むリスクとそのリスクをマネジメントする方法を習得する</p> <p>鈴木 陽一郎 氏 株式会社ユニエックス 顧問</p> 
場所・ 費用 など	<p>場所: TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター (最寄駅: JR東京駅) 費用: 250,000円 (教材費込・消費税別) 定員数: 20名 (最少開催人数10名) お申し込み締め切り日: 2018年7月31日(火)</p>	<p>場所: TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター (最寄駅: JR東京駅) 費用: 250,000円 (教材費込・消費税別) 定員数: 20名 (最少開催人数10名) お申し込み締め切り日: 2018年8月31日(金)</p>

■ 受講目的(複数回答)



■ 受講満足度

総合満足度  
**85%**

※アイさぼーとMOTスクール事務局調べ

■ 受講生の所属する業種 エネルギー、化学、繊維、IT、商社、硝子、機械、鉄鋼、金属、材料、製薬、食品、建設、電気部品、自動車部品、製紙

名古屋 Nagoya

大阪 Osaka

大阪 Osaka

イノベーション スタートアッププログラム

イノベーションを創出するために必要な  
・アントレプレナーシップ  
・ファシリテーション  
・デザイン思考  
3つのスキルを育成するプログラム

2018年7月～9月(全6日間)  
10:00～17:30

[第1・2日目]  
イノベーション概論/アントレプレナーシップ  
アントレプレナーシップの基本概念や意義について学ぶ

高田 仁 氏  
九州大学大学院経済学研究院  
教授



[第3・4日目]  
イノベーション創出のための  
ファシリテーション力  
さまざまなワークショップを通じて、実践で使える  
ファシリテーション力を身につける

小柳津 誠 氏  
起承転結社  
代表



[第5・6日目]  
デザイン思考  
/ビジネスモデルイノベーション  
従来のモノ発想から、顧客の課題を解決するコト発想を学ぶ

小山 龍介 氏  
株式会社ブルームコンセプト  
代表取締役



場所:愛知県産業労働センター  
ウインクあいち (最寄駅:JR名古屋駅)  
費用:250,000円  
(教材費込・消費税別)  
定員数:20名  
(最少開催人数10名)  
お申し込み締め切り日:2018年6月29日(金)

MOTベーシックプログラム

MOTを実践するために必要な  
・技術マーケティング  
・MOT戦略  
・ビジネスプランニング  
3つのスキルを育成するプログラム

2018年7月～9月(全6日間)  
10:00～17:30

[第1・2日目]  
MOT概論/技術マーケティング  
理論と具体的な事例に基づき、なぜMOTが必要なのか  
について理解する

小笠原 敦 氏  
滋賀医科大学  
バイオメディカル・イノベーション  
センター 特任教授



[第3・4日目]  
MOT戦略  
イノベーションにおける戦略の考え方を理論と具体的な  
事例に基づき学ぶ

玄場 公規 氏  
法政大学大学院  
イノベーション・マネジメント研究科  
教授



[第5・6日目]  
ビジネスプランニング演習  
ビジネスプランニングのグループワークを行うことにより、  
仮説・実践・検証のプロセスを体験し、MOT実践の留意点を  
学習する

岡田 耕治 氏  
日本テクノロジーソリューション  
株式会社 代表取締役社長



場所:大阪ガス研修センター  
(最寄駅:地下鉄御堂筋線淀屋橋駅)  
費用:250,000円  
(教材費込・消費税別)  
定員数:20名  
(最少開催人数10名)  
お申し込み締め切り日:2018年6月29日(金)

製品・技術開発テーマ企画力強化プログラム

テーマを立案するために必要な  
・MOTの考え方  
・マーケティング  
・伝える・巻き込む力  
3つのスキルを育成するプログラム

2018年10月～12月(全6日間)  
10:00～17:30

[第1・2日目]  
MOT概論/技術戦略ケーススタディ  
社会・環境等の変化を見据えた事業シナリオを議論し、技術戦略の  
構想力向上を目指す

石田 修一 氏  
立命館大学  
テクノロジー・マネジメント研究科  
教授



[第3・4日目]  
製品・技術開発テーマの探索と企画  
シーズとニーズを結びつけた製品・技術開発テーマを  
企画することが求められている。そのやり方を一から学び、  
テーマ企画力を習得する

新名 史典 氏  
株式会社SmartPresen  
代表取締役社長



[第5・6日目]  
製品・技術開発テーマの推進  
人と組織を動かすストーリーにブラッシュアップ、最終日には  
プレゼンテーション学び、伝える・巻き込む力を身につける

新名 史典 氏  
株式会社SmartPresen  
代表取締役社長



場所:大阪ガス研修センター  
(最寄駅:地下鉄御堂筋線淀屋橋駅)  
費用:250,000円  
(教材費込・消費税別)  
定員数:20名  
(最少開催人数10名)  
お申し込み締め切り日:2018年9月28日(金)



## 東京

Tokyo

**TKP東京駅八重洲  
カンファレンスセンター**

[最寄駅: JR東京駅]





## 名古屋

Nagoya

**愛知県産業労働センター  
ウイंकあいち**

[最寄駅: JR名古屋駅]





■お問い合わせ・お申し込み先

お申し込みの際は、「貴社名」「ご担当者様氏名・部署名・ご連絡先(電話・メールアドレス)」「受講者様氏名・部署名・ご連絡先」を下記メールアドレスまでご連絡ください。

◎お申し込みいただいた場合は、下記の個人情報の取り扱いについてご了承いただいたものとさせていただきます。

## 大阪

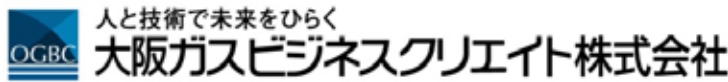
Osaka

**大阪ガス  
研修センター**

明治安田生命大阪御堂筋ビル12階

[最寄駅: 地下鉄御堂筋線淀屋橋駅、  
京阪電鉄淀屋橋駅]



大阪ガスビジネスクリエイト株式会社 HR事業本部 「アイさぽーと MOTスクール」事務局

**TEL.06-6205-4831 FAX.06-6205-4764**

**Email:mot-staff@isupport.jp**

■ ご提供いただきます個人情報の取扱いについて

当社は、アウトソーシング事業、情報通信事業、駐車場事業、施設運営管理事業、人事サービス事業など幅広く事業を展開しており、それぞれの事業分野における個人情報の取扱いについて、各事業分野の業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制及び管理手順を確立し、次の事項を含む個人情報保護方針を定め、これを実施し、かつ、維持することを宣言いたします。

1. 当社は、すべての事業で取扱う個人情報及び従業員等の個人情報の取扱いに関し、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守いたします。さらに、日本工業規格「個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」(JIS Q15001)に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、個人情報を保護いたします。
2. 当社は、個人情報の取得、利用にあたっては、その利用目的を特定することとし、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱い(目的外利用)はいたしません。また、目的外利用を行わないために、適切な管理措置を講じます。
3. 当社は、ご本人の同意を得ている場合や法令にもとづく場合等を除き、取得した個人情報を第三者に提供することはいたしません。

4. 当社は、個人情報の取扱いに関する苦情及び相談を受けた場合は、その内容について迅速に事実関係等を調査し、合理的な期間内に誠意をもって対応いたします。
5. 当社は、取得した個人情報を適切に管理するため、組織的・人的・物理的・技術的な安全対策措置を講じ、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止及び是正に取り組みます。
6. 当社は、社会情勢・環境の変化を踏まえて、継続的に個人情報保護マネジメントシステムを見直し、個人情報保護への取り組みを改善していきます。

制定: 2005年2月1日 最終改定: 2018年4月1日

大阪ガスビジネスクリエイト株式会社 代表取締役社長 乾俊之

[個人情報保護方針についてのお問い合わせ先]

大阪ガスビジネスクリエイト株式会社 苦情・相談窓口 (総務部 個人情報保護担当)

電話: 06-6446-4300 (受付時間: 平日9時~17時)

E-mail: somu@ogbc.co.jp